

# 株式会社鳥羽洋行本社ビル

THE HEAD OFFICE OF TOBA Inc

No. 15-003-2010更新  
新築  
事務所

発注者	株式会社鳥羽洋行	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	東急建設株式会社一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	東急建設株式会社	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

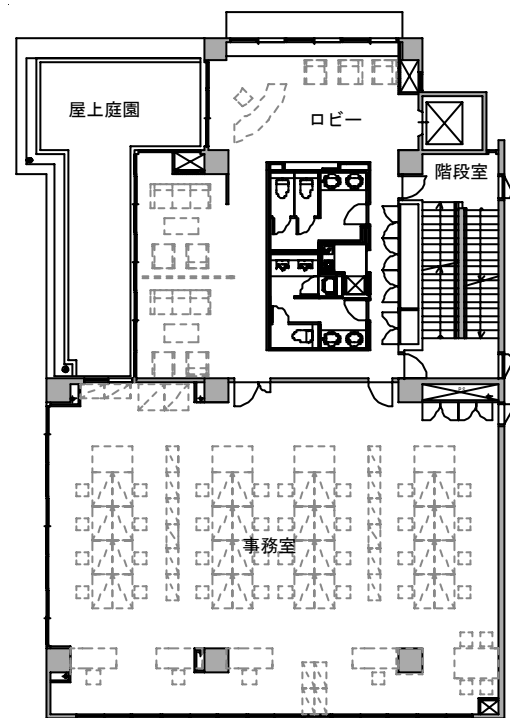
## 環境配慮時代オフィスのスタンダード

### 設計プロセス

会社創業100周年の記念として本社を建替えるにあたり、取引企業に対し、「エコ」を体現できる設備を積極的に採用したいとの要望が出され、様々な環境配慮項目を採用することとなった経緯を持つ。

場所は小さな町工場と住宅が混在する文京区水道地区。敷地を挟んで道路と反対側には神田川と首都高速道路に面しており、昼間・夜間を問わず車の通過騒音が激しく、建替えにあたり環境配慮項目の採用と同時に快適な執務空間の確保も求められた。

採用された主な環境配慮項目は、断熱性能、騒音対策、メンテナンス性を兼ね備えたブラインドを内蔵したペアガラスサッシ、屋上機器の目隠しパネルと一体化することで美観と周囲へのアピールを兼ね備えた太陽光パネル、ヒートアイランド現象の減少効果と従業員の精神的憩いの効果を目的とした屋上緑化、自然の空気を利用し、中間期の空調負荷低減を図る自然換気システムなどがあげられる。



基準階平面図



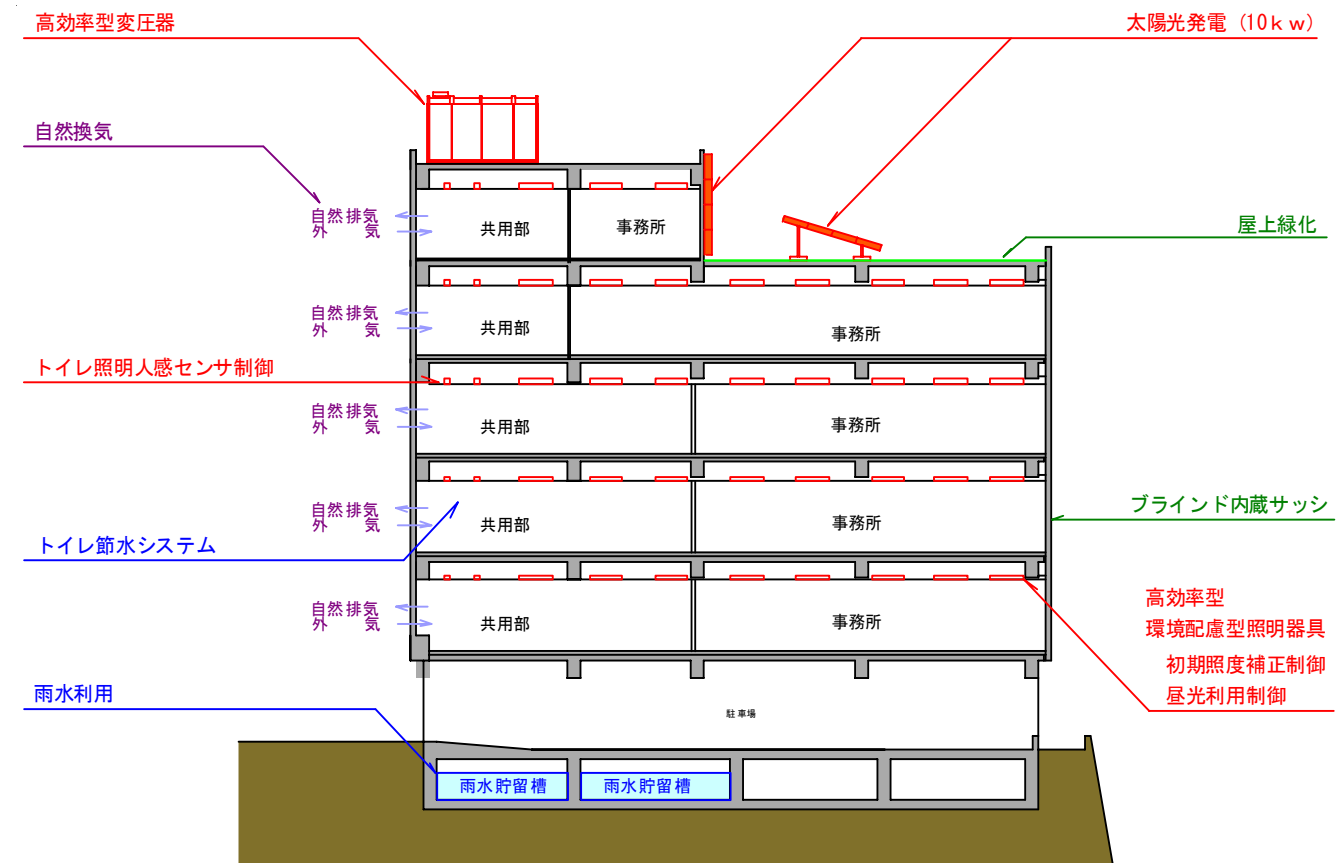
外観写真



屋上庭園と太陽光パネル

### 環境配慮・省エネ提案項目

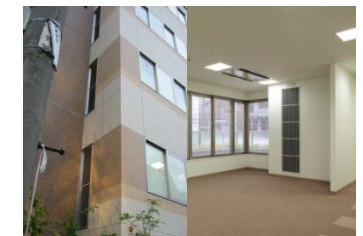
用途や規模にとらわれず、またコスト回収に固執することなく、アピール重視の「環境配慮項目」とランニングコスト重視の「省エネ項目」に大別して検討した。それらを推奨ランク A・B・Cの3段階に分けて提案し、最終的には以下の項目が採択された。



ブラインド内蔵サッシ



太陽光パネル



自然換気ガラリ (左: 屋外、右: 室内)



太陽光パネル表示板



自然換気表示板

### 設計担当者

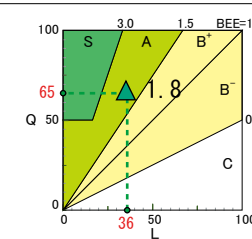
建築：西澤 登、前田英則／構造：市川一美、竹中安明／  
設備：梅津史朗、古園昭義

### 建物データ

所在地	東京都文京区
竣工年	2006年
敷地面積	509.43㎡
延床面積	1710.15㎡
構造	RC造
階数	地下0階、地上6階

### CASBEE評価

Aランク  
BEE=1.8  
2004年度版  
自己評価



### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (屋上緑化)
- LR1. 1. 建物の熱負荷抑制 (ブラインド内蔵サッシ)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (自然換気、太陽光発電)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (照明センサー制御)
- LR2. 1. 水資源保護 (節水型機器、雨水利用)